

## 特許出願公告及特許拔萃

### 特許出願公告拔萃

**アルミニウム合金** (8年特許公告第4347號、公告8-10-9、英國、ロールス、ロイス、リミテッド) 伸延性に富み非多孔質のものを鑄造せんとする目的を以て  $Cu$  0.5~5.0%、 $Mg$  0.03~0.1%、 $Ni$  0.2~1.5%、 $Fe$  0.6~1.5%、 $S$  0.05~2.8%、 $Ti$  0.3% 以下  $Al$  殘餘を含有する事を特徴とする  $Al$  合金。

**金色隆起七寶の製造法** (8年特許公告第4401號、公告8-10-10、京都市、一條茂喜司) 特種の光彩を模様の中に配せしめ表面研磨を要せずして凹凸模様面滑澤なる特種の七寶を簡單且安價に製造せんとする目的を以て  $Cu$  又は  $Cu$  を含む薄き金屬板に凹凸模様を施し釉層を介して別個の礎體に之を熔着して一體の七寶體と爲し該金屬面に金色を發生すべき釉を焼付けることを特徴とし其面上に色釉及呈色性液體顏料を焼付けて成る金色隆起七寶の製造法。

**石炭自動計量裝置** (8年特許公告第4384號、公告8-10-10、大阪市、高田耕之) 機械的給炭式特に鎮狀火床給炭式汽罐に於て供給する石炭の容積量を自動的に計量せしむる目的を以て炭層調節扉に設けたる數多の接面に觸すべき各挾接子と給炭鎮狀火床の動軸より適宜聯動せらるる轉觸子に接觸すべき數多の各接極子とを電磁線輪を経て夫々直列に電路を結成せしめ電磁石の勵磁により計數器を作動計量せしむべくなしたる石炭自動計量裝置。

**アルミニウム鑛石分解法** (88年特許公告第4483號、公告8-10-18、東京市、加藤興五郎) 混交器に固結物の固着して除去し難き困難を除き或は更に爆發的反應の危險を避けて以て加熱攪拌等の費用少く頗る簡便に經濟的に該鑛石を分解して  $Al$  を硫酸鹽として抽出せしめんとする目的を以て  $Al$  鑛石と硫酸とを高温度にて混交し、粘度を昇らしむる工程と其粘性物を固結せしめ保温又は加熱して  $60^{\circ}$  以上  $400^{\circ}C$  以下に保つ如くして其固結物に反應を起らしむる工程とを別所にて行ふことを特徴とする  $Al$  鑛石分解法。

**熔接裝置** (8年特許公告第4488號、公告8-10-18、東京市、株式會社芝浦製作所) 改良電極振動裝置を使用して接目を横切る電極の振動運動を制御する事により分厚の熔接部を確實に接合し得べき熔接裝置を得んとする目的を以て熔接作動部と被熔接々目を横切り前記作動部を振動する裝置と前作動部の振動運動中前記接目の兩側に於て其の中心より豫定せる距離隔たりたる點に前記熔接作動部を一時的に抑留する裝置とを具ふる熔接裝置。

**磁性合金** (8年特許公告第4547號、公告8-10-22、獨國、シーメンス、ウントハルスケアクテン、ゲゼルシャフト) 初期透磁率が比較的大にして而も廣き範圍に亙りて一定なる廉價なる磁性合金を得る目的を以て 0.5~3.5% の  $Co$  及 70% より少きも最低 30% の  $Ni$  を含み殘餘は鐵及 5% 以下の他の元素及不純物より成ることを特徴とする磁性合金。

**クロム—銅—鋼** (8年特許公告第4559號、公告8-10-23、獨國、フェライニグテ、スタールウエルケ、アクチエンゲゼルシャフト) 低き高度變態點 ( $A_3$  點) を有し高き彈性限及び大なる強靱性を有する鋼を經濟的に製造せんとする目的を以て  $C$  の含有量が 0.1~0.2%、 $Cu$  の含有量が 0.5% 以上にして  $Cu$  及  $Co$  の含有量の和が 2% を越へず且  $Cu$  の含有量が  $Co$  の含有量と等しきか或は之より高きことを特徴とする  $Co-Cu$ —鋼。

**金屬及合金の處理裝置** (8年特許公告第4620號、公告8-10-25、佛國、デオルデュ、マウー) 一般に  $50^{\circ}C$  内外又普通の分

析結果を有する鋼の場合には其變形の臨界點以下なる一定温度に於て被處理材片の内部に超可聴周波數の電磁的振動又は機械的振動若くは之等兩振動を同時に與ふるに適し以て金屬又は白金の表面的乃至内部的結晶性構造に變改を起し優秀なる特質を有する金屬又は合金を得る爲めの最有效簡單なる裝置を提供せんとする目的を以て密閉せる金屬製容器を加熱し得べくなせる一室内に裝架すると共に大地と電氣的に連結し該容器の内部に被處理材片を支持すべき部材を該容器と電氣的に絶縁して設け別に1個の電氣導體に一方には被處理材片に他方には超可聴周波數の振動を生ぜしむべき電源の一端に連結し此被處理材片と金屬製容器をして蓄電器の二發電子を構成せしむる様なすことを特徴とする鋼其他の鐵合金の如き金屬及合金の處理裝置。

**錫被覆鉛チューブの製造法** (8年特許公告第4630號、公告8-10-27、大阪市、佐々木貞) 基材と被材との接着緊密堅固にして錫チューブ又は錫鍍金チューブに比し外觀上並に耐久異る所なき錫被覆鉛チューブの製出を極めて簡易化すると共に製産を迅速ならしめ製産費を低減し且は基材の部分部分に應じ厚薄任意に錫又は錫合金を被着せしめ得ることに依り壓延工程を容易安全ならしめやうとする目的を以て鉛又は錫合金製チューブ基材の表面に熔融狀態に在る錫又は錫合金を噴射することに依り錫又は錫合金を基材表面に融着固化せしめたる後之を壓展してチューブ状となすことを特徴とする錫被覆チューブの製造法。

**板狀、線狀或は帶狀等の磁性材の處理法** (8年特許公告第4640號、公告8-10-27、獨國、アルゲマイネ、エレクトリチーツ、ゲゼルシャフト) 磁性材の磁氣特性特にヒステレシス損失及初導磁率並にヒステレシス定數を改良せしめんとする目的を以て  $Ni$  30~85% と  $Cu$  2~18% とを含有する  $Ni$  鐵合金より成れる磁性材を最後の赤熱冷伸延することを特徴とする板狀、線狀或は帶狀等の弱磁界閉磁路電磁裝置用磁性材の處理法。

**熱處理に依り硬化せしめたる銀合金** (8年特許公告第4642號、公告8-10-27、京都市、化學研究所長) 焼入後軟質狀態に於て加工を施したる後比較的低温度の加熱によりて著しく硬度を大ならしめたる且銀白色の色澤を有する合金材料を得んとする目的を以て  $Al$  2~10% 殘部銀及び之等の不純物を含有し熱處理に依り硬化せしめたる銀合金。

**鋼球の硬度選別機** (8年特許公告第4663號、公告8-10-30、大阪市、森武助) 硬度差より生ずる反撥力の大小に依り等大なる多數の鋼球を自動的に迅速に硬度差に順じて的確に選別せんとする目的を以て鋼球繰出回轉機の下方に落下筒と該筒直下に於ける傾斜衝撃板並に之と同心的な數條の弧狀壁にて挾まれ且つ兩側方へ傾斜せる轉出溝を隣接して函中に配設したるものとより成る鋼球の硬度選別機。

**轉子を機械仕上げる裝置** (8年特許公告第4669號、公告8-10-30、獨國、マンネスマンレエレンウエルケ) 一機械裝置を以て迅速且つ完全に此種轉子の仕上げを遂行するを得而も構造簡單なる裝置を得んとする目的を以て被加工物の送りを該被加工物自體の軸を中心となす廻轉によりて遂行し工具保持材は廻轉可能なると共に其廻轉軸に對し輻射方向の運動をなし得べくせる轉子特にビルガー、ステップ壓延機用轉子を機械仕上げる裝置に於て工具保持材をして廻轉運動中に其廻轉軸に對する二様の輻射方向運動を周期

的になせしめ該二様の輻射方向運動は個々に作動す可くせる装置或は聯動器を介し相關連して作動す可くせる装置によりて統制せらる可くせるを特徴とする構造。

**廢油清淨法** (8年特許公告第4672號、公告8-10-30、神戸市、株式會社阪神鐵工所) 高率且輕便に廢油中の夾雜物を除去清淨せんとする目的を以て廢油に瓦斯コークス粉末若しくは他の粉狀脱色劑を混じ之を適度に振盪又は攪拌することに依りて混濁體を生成する工程と該混濁體に水若しくは熱湯を混入して更に振盪又は攪拌後數時間放置することに依り夾雜物を分離沈澱せしむる工程との結合を特徴とする廢油清淨法。

**鋼特に工具鋼を硬化する加熱浴** (8年特許公告第4723號、公告8-11-4、獨國、リチャード、ウエベル、エンド、コムパニー) 最も有効にして且經濟的な鋼特に工具鋼を硬化せしめ得べき加熱浴を得んとする目的を以て酸化マグネシウム、酸化アルミニウム等の如き酸化金屬又は之等の混合物並に硼素化合物の如き酸化金屬の熔解を促進せしむる物質の小量を含む鹽化バリウム、鹽化アルカリ等の如き不反應の鹽類より成れる熔融液狀浴中にて加熱し次に急冷し又必要に應じては焼鈍することにより鋼特に工具鋼を硬化する加熱浴。

**含 Th, W 體の製作方法** (8年特許公告第4727號、公告8-11-4、川崎市、東京電氣株式會社) Th 含有量大にして電子放射用電極體等として良好なる含 Th, W 成形體を容易に製作し得べくする目的を以て純 W を材料として之れを所要形狀に加工成形したる後酸化 Th と還元劑との混合物中に埋没し不作用性雰囲気内にて加熱し Th を該純 W 成形體内に吸収せしむる含 Th, W 體の製作方法。

**輕合金** (8年特許公告第4736號、公告8-11-4、静岡縣、磯部恵太郎) 比重最も輕量にして品質強靱、硬度高く、耐酸性に富む合金を得んとする目的を以て全量百分中 Mg 5.0~20%、Si 2.0~6.0%、Mo 0.5~2.0%、Cr 1.0~2.0%、Ni 1.0~2.0%、Al 殘全量を含む輕合金。

**壓延ロールの鑄造用鑄型** (8年特許公告第4697號、公告8-11-1、獨國、ブルノ、ヴィチング) 之により極めて壓延面を有し他の部分は柔軟にして内部に泡痕を有せず従つて壓延帶狀鐵板又は其類似物を壓延するに使用さるる如き型式の壓延ロールの備ふるを要する條件を能く具備したる壓延ロールを容易に得んとする目的を以て誘導電流により加熱すべくしたる鑄型の内面に壓延面を構成すべき硬合金製圓筒を嵌合し其上下に挾持部鑄型を連接して來る壓延ロール鑄造用鑄型。

**錫を金屬錫に鐵を低級酸化物としたる後銅鹽を主とする溶媒を以て處理する錫石鑛の處理方法** (8年特許公告第4760號、公告8-11-1、理化學研究所長) Sn の大部を速かに溶解せしむると共に Fe の溶解を少量に止めんとする目的を以て還元式漸に依り Sn 石鑛を還元焙焼し Sn 石を金屬 Sn に酸化鐵を低級酸化物に止めたる後硫酸銅又は鹽化銅を主とする溶媒を以て金屬 Sn のみを浸出する Sn 石鑛の處理法。

**耐火性物鑄造法** (8年特許公告第4784號、公告8-11-8、米國、コルハルト、レフラクトリース、コムパニー) 鑄型に注入せる熔融資料に對し心型を速かに且大なる膨脹を伴ふことなく之と略同一溫度に達せしめ且之を資料と共に冷却せしむることにより鑄造製品に於ける龜裂の生成を有効に排除せんとする目的を以て熔融珪酸アルミニウムを以て孔又は凹窩を有する耐火性物を鑄造するに際し

前記孔又は凹窩を形成すべき部分に砂よりも熱傳導度大にして熱膨脹率小なる珪酸アルミニウム粒子を適當なる結合料を以て結合せる資料を以て構成せる心型を介在せしむることを特徴とする方法。

**活性炭製造法** (8年特許公告第4785號、公告8-11-8、東京市、三井鐵山株式會社) 低廉にして豊富なる原料を使用し優良なる活性炭を經濟的に製造せんとする目的を以て瀝青炭の一種又は二種以上の配合により石炭本質と化合せる S 分が約 0.5% 以上にて H かつ粘結性を有し膨脹率が原炭の容積の 3 倍以上なるものを原料とし之に亞鉛鹽類及少量の酸化性化合物例へば Mg, Cr 又は沃度等の化合物を反應促進劑として適當に混和し次に原料炭の分解溫度以上に加熱し更に酸を以て處理することを特徴とする活性炭製造法。

**金屬 Al 又は Al 合金の表面に酸化皮膜を形成せしむる方法** (8年特許公告第4791號、公告8-11-8、東京市、横井玉治) 簡易なる方法によりて金屬 Al 又は其の合金の表面に酸化皮膜の厚薄の差による模様等を得んとする目的を以て金屬 Al 又は Al 合金を陽極となして電解液中に於て電解を行ひ其の表面に先づ極めて薄き酸化皮膜を形成せしめたる後其上面に耐酸性絶緣塗料を部分的に塗布し再び前記の如く電解を行ひ塗料の塗布部分以外の酸化皮膜の形成を進行せしむることを特徴とする金屬 Al 又は Al 合金の素面に酸化皮膜を形成せしむる方法。

### 特 許 抜 萃

| 特許<br>番 號 | 名 稱                           | 特 許 権 者                               | 公 告 抜 萃<br>記載本誌番號 |
|-----------|-------------------------------|---------------------------------------|-------------------|
| 102386    | 骸炭爐蓄熱室に於ける給氣又は排氣裝置            | 相 良 春 一                               |                   |
| 102531    | 壓粉心等に對する磁性合金                  | シーメンス、ウントハルス<br>ケアクチエン、ゲゼルシャ<br>フト    |                   |
| 102561    | 黒心可鍛鐵を急速に製造する方法               | 戸畑鑄物株式會社                              |                   |
| 102554    | マグネシウム合金                      | 古河電氣株式會社                              |                   |
| 102541    | 強靱特殊鋼                         | 渡 邊 三 郎                               |                   |
| 102559    | 窒素作用を以て鐵鋼及鐵合金製の物體を硬化せしむる方法の改良 | フリードリッヒ、クルツ、<br>アクチエン、ゲゼルシャ<br>フト     |                   |
| 102608    | 含錫不純溶液より酸化銅を加へて錫を沈澱分離する方法     | 理化學研 究 所 長                            |                   |
| 102634    | 乾式整流器製造法                      | 梯 道 雄                                 |                   |
| 102712    | 磁 性 合 金                       | 古河電氣株式會社                              | 第 19 年 6 號        |
| 102711    | マグネシウム及其合金の防蝕法                | 同 上                                   | 同 上               |
| 102727    | 鐵及銅面上に防銹層の形式方法                | 大 澤 重 藏                               | 同 上               |
| 102740    | 金屬線金屬織條金屬帶等を熱處理すべき裝置          | 同 上                                   | 同 上               |
| 102771    | 硬質難融性合金を基材金屬に固定する方法           | 株式會社ヤマトメ<br>タル商會                      | 第 19 年 7 號        |
| 102808    | 錫基減摩合金                        | 同 上                                   | 第 19 年 6 號        |
| 102815    | 耐久磁石鋼                         | 渡 邊 三 郎                               | 第 19 年 7 號        |
| 102851    | アルミニウム合金                      | アルミニウム、リ<br>ミツテツド                     | 第 19 年 5 號        |
| 102373    | ニッケル合金金屬形成法                   | 加藤興五郎外一名                              | 第 18 年 7 號        |
| 102939    | 壓延材と鑄材との結合方式                  | シーメンス、シュツケルト<br>ウエルケ、アクチエンゲ<br>ゼルシャフト | 第 19 年 6 號        |
| 102981    | Al 合 金                        | ロールス、ロイス、<br>リミテツド                    | 第 19 年 6 號        |
| 103043    | 燒 鈍 法                         | 横濱工業株式會社                              | 第 19 年 7 號        |
| 103031    | 蓄電池活動物質の製造法                   | 芳 賀 惣 治                               |                   |
| 103090    | 中空鑿用鋼棒又は耐高壓鋼管の製造法             | 株式會社神戸製鋼所                             | 第 19 年 7 號        |